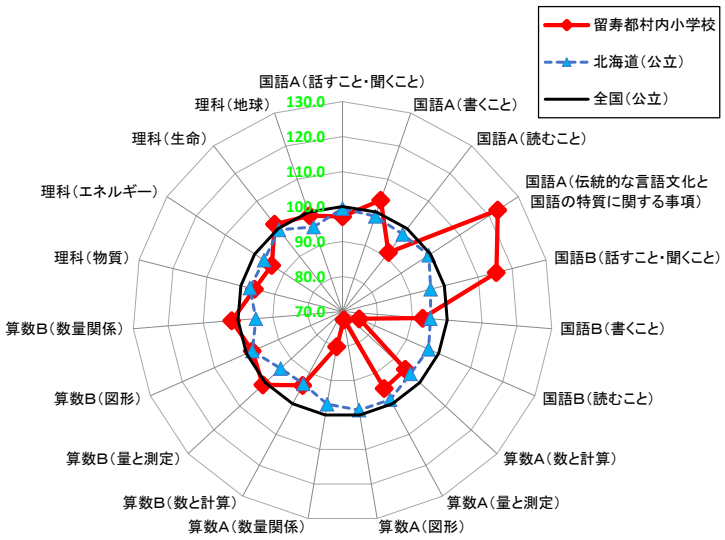
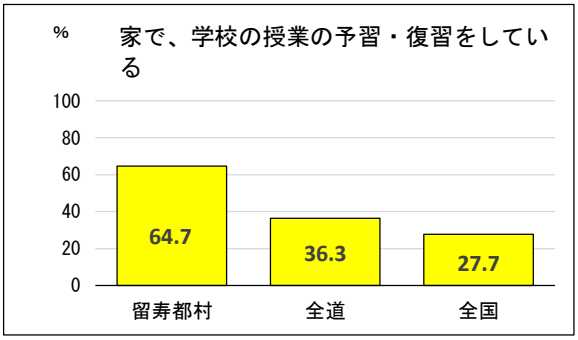
■留寿都村内小学校の状況及び学力向上策（学校数：1校、児童数：17人）

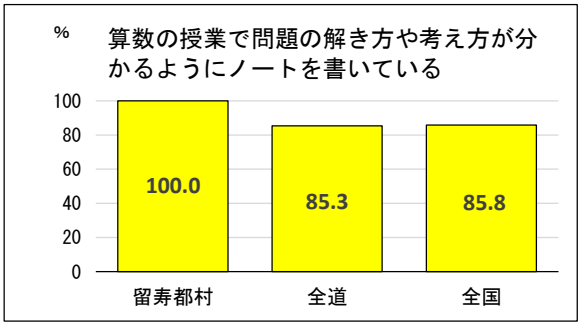
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

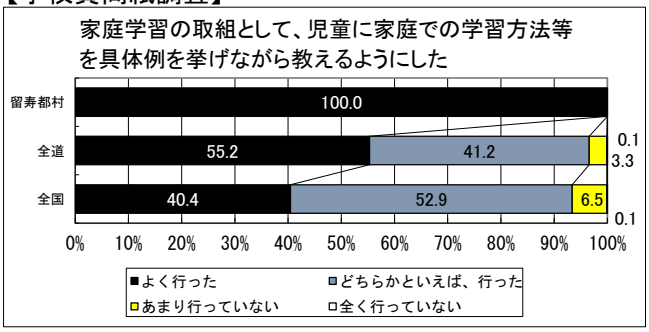


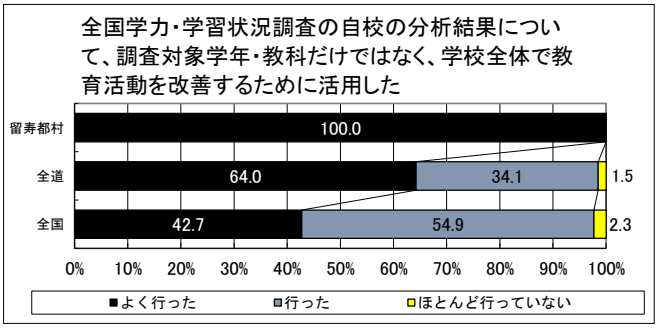
【児童質問紙調査】





【学校質問紙調査】





【分析】

教　　科	○ 国語Aでは、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Bでは、「量と測定」「数量関係」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「生命」で全国を上回っている。	○ 家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしたことにより、「家で、学校の授業の予習・復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。 ○ 全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用したことにより、授業改善が進み、全ての児童が「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」と回答するとともに、国語Aでは、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「話すこと・聞くこと」、算数Bでは、「量と測定」「数量関係」、理科では、「生命」で全国を上回る結果につながったと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で、学校の授業の予習・復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 全ての児童が、「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」と回答している。	
学校質問紙	○ 家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにした。 ○ 全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した。	

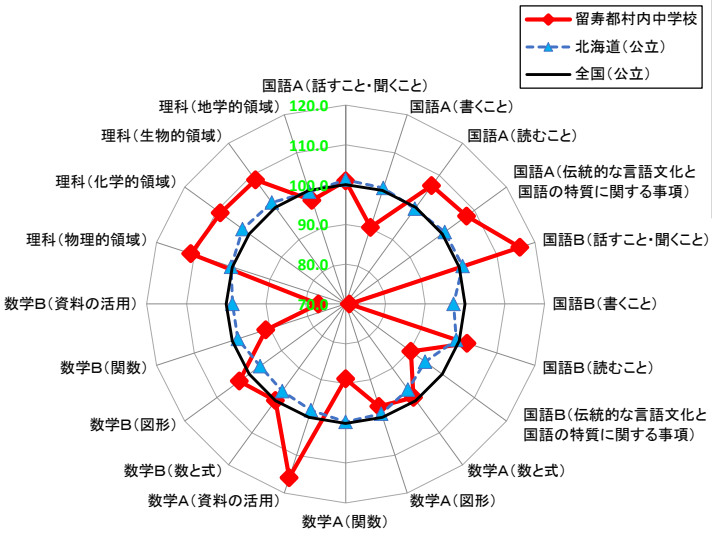
【留寿都村の学力向上策】

◎　学習支援員の配置による習熟度別少人数指導の工夫・改善
◎　学校支援地域本部と連携した地域素材の教材化によるふるさと学習の推進
◎　教職員による自己評価や保護者、児童アンケート等の学校関係者評価による教育活動全体の点検・見直し

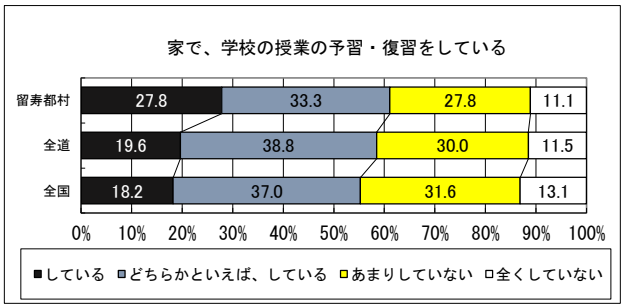
■留寿都村内中学校の状況及び学力向上策（学校数：1校、生徒数：18人）

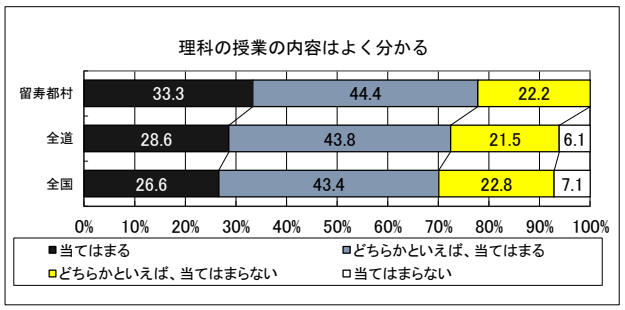
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

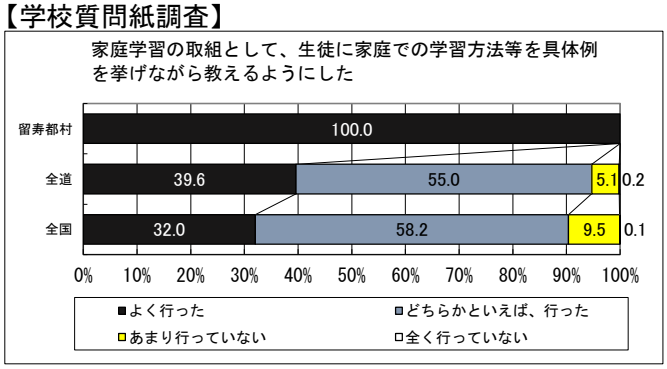


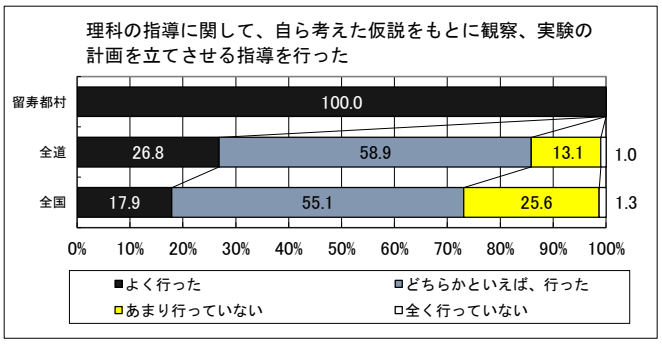
【生徒質問紙調査】





【学校質問紙調査】





【分析】

教　　科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「資料の活用」、Bでは、「図形」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「物理的領域」「化学的領域」「生物的領域」で全国及び全道を上回っている。	○ 家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしたことにより、「家で、学校の授業の予習・復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。 ○ 理科の指導に関して、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行ったことにより、「理科の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回るとともに、理科の「物理的領域」「化学的領域」「生物的領域」で全国及び全道を上回る結果につながったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「家で、学校の授業の予習・復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「理科の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	
学校質問紙	○ 家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにした。 ○ 理科の指導に関して、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行った。	

【留寿都村の学力向上策】

◎　学習支援員の配置による習熟度別少人数指導の工夫・改善
◎　学校支援地域本部と連携した地域素材の教材化によるふるさと学習の推進
◎　教職員による自己評価や保護者、生徒アンケート等の学校関係者評価による教育活動全体の点検・見直し